



2008年3月期 中間決算説明会

平成19年11月27日(火)

東京鋼鐵株式会社 JQ:5448

代表取締役社長 南 良隆



目次

- 🍌 P 3 ~ 7 中間決算の概要
- 🍌 P 8 ~ 9 市況の動向
- 🍌 P10 通期業績見通し
- 🍌 P11 今後の設備投資計画
- 🍌 P12 ~ 16 その他



中間実績概要



急騰する原材料価格に製品価格転嫁が追いつかず減益

単位:百万円

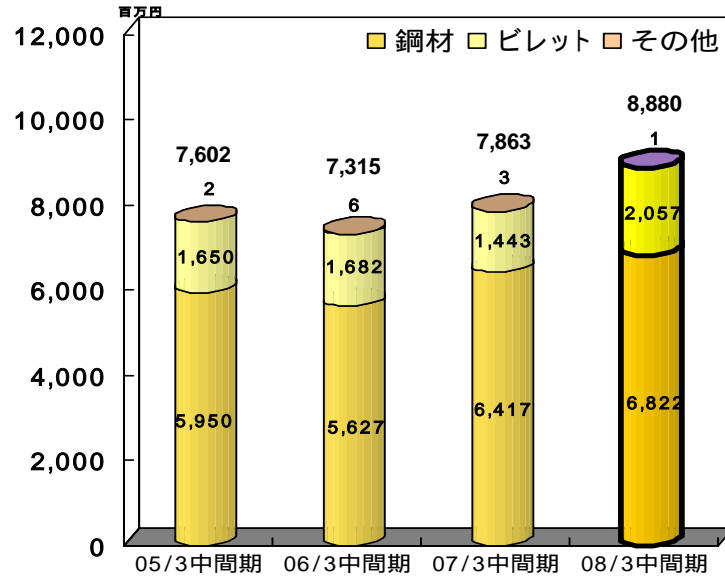
	前中間期	当中間期	差引	前年比	要因
売上高	7,863	8,880	1,017	12.9%	販売価格上昇
売上原価	5,668	7,090	1,422	25.0%	スクラップ・電力・修繕費・減価償却費増加
売上総利益	2,195	1,790	- 405	- 18.4%	
販売管理費	565	621	56	9.9%	
営業利益	1,630	1,169	- 461	- 28.2%	
経常利益	1,630	1,169	- 461	- 28.2%	
中間純利益	894	699	- 195	- 21.7%	特別損失及び法人税等減少

売上高総利益率	27.9%	20.2%	- 7.7%	- 27.5%	
〃 経常利益率	20.7%	13.2%	- 7.5%	- 36.2%	ROSは同業の中でも上位維持
EPS(円)	51.30円	40.17円	- 11.13円	- 21.7%	
配当(円)	5円	5円	±0円	0.0%	配当金は据置

売上高・輸出割合の推移



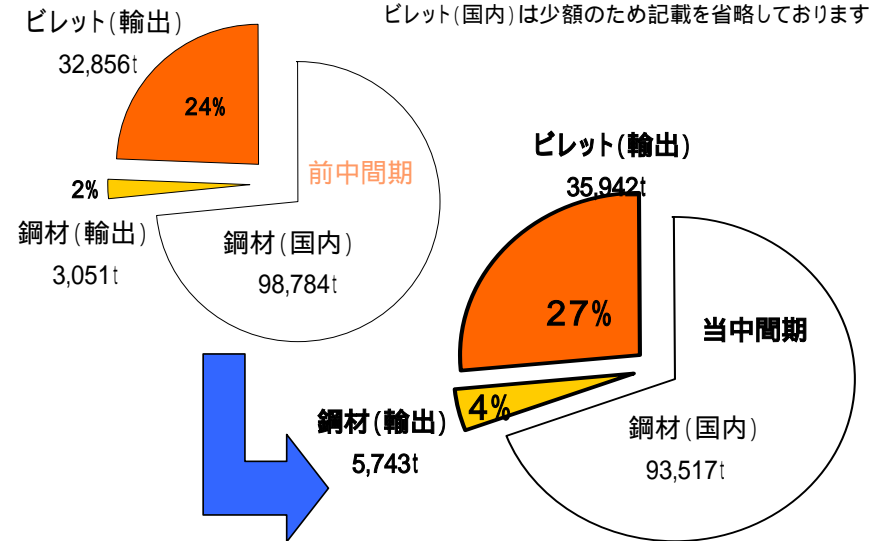
売上高推移



前中間期 売上比較

< 鋼材 >
 製品価格転嫁により@5,717上昇 405百万円増加
 需給調整のため販売数量減少 2,575t減少
 < ビレット >
 鋼材需給調整分を輸出販売へ移行 3,055t増加
 @13,347上昇 614百万円増加

輸出割合推移

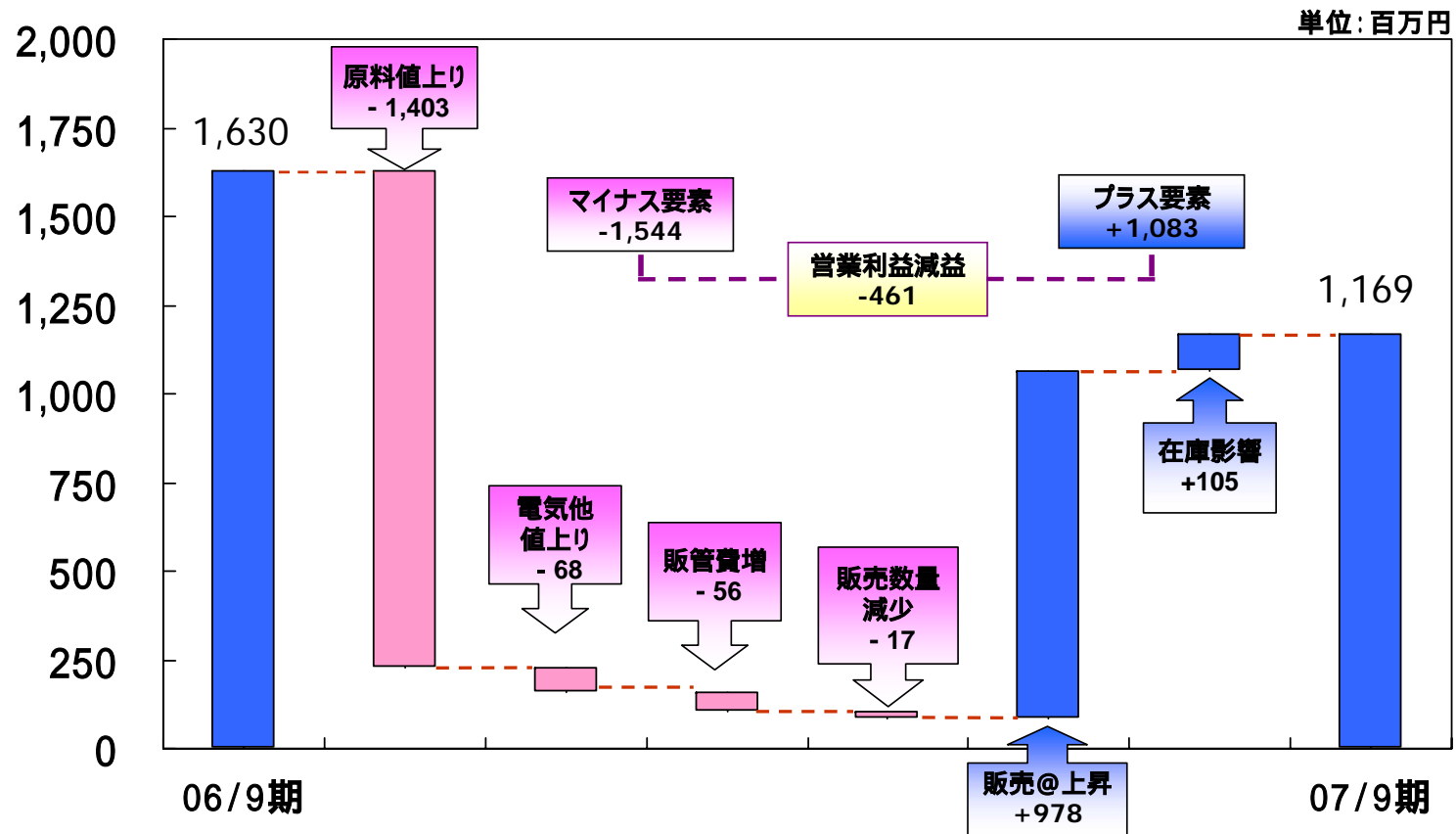


輸出割合比較

< 輸出販売注力 >

建築基準法改正に伴い民間建築需要停滞を察知し、海外輸出(アジア)へシフト。アジアの買い意欲旺盛だったこともプラス要因となり、鋼材の国内販売減少分を輸出販売増加分にてカバーすることに成功 **期初利益計画達成に至る。**

営業利益増減要因



期初利益計画との比較



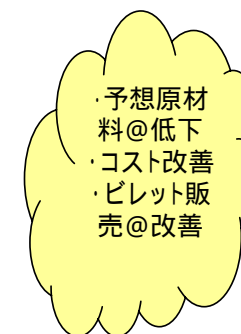
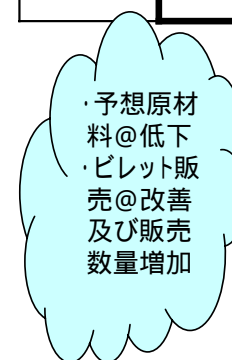
単位:百万円

	計画 5.10短信	中間 実績	差引
売上高	8,780	8,880	100
売上総利益	1530	1,790	260
営業利益	900	1,169	269
経常利益	900	1,169	269
中間純利益	500	699	199
ROS	10.2%	13.2%	3.0%

1Q		2Q	
実績	計画比	実績	計画比
4,591	91	4,289	9
952	112	838	148
636	116	533	153
634	114	535	155
393	98	306	101
13.8%	2.3%	12.5%	3.6%

営業利益増加要因

- ・ 原材料払出価格が予想よりも低下 144百万円
- ・ 販売価格値上げ 51 "
- ・ コスト削減 43 "
- ・ その他 31 "



貸借対照表 主要項目比較



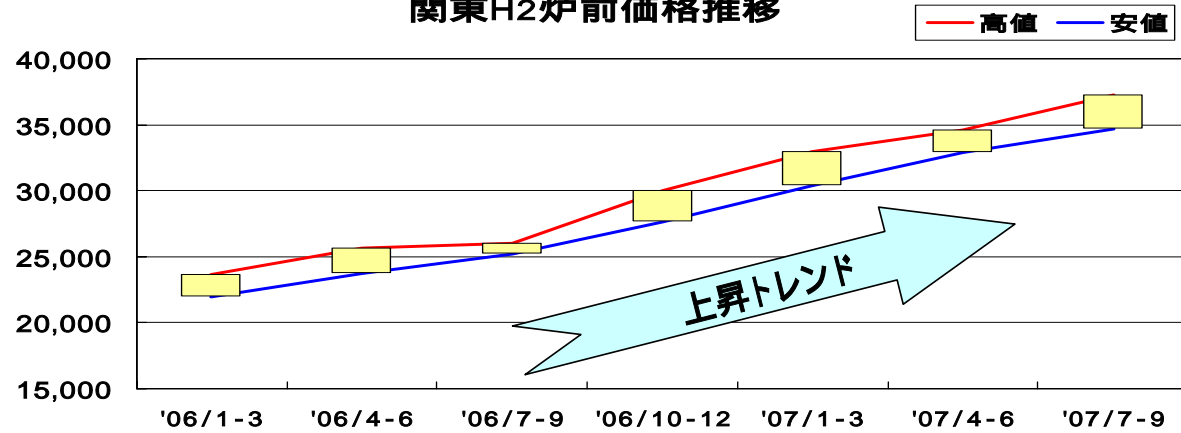
単位: 百万円

	前期末	当中間期末	増 減	内 容
資産 売上債権	3,917	3,796	121	
棚卸資産	1,924	2,093	169	原材料単価アップ
流動資産	6,715	7,337	622	中間純利益による手持ち資金増加
負債 買入債務	3,706	4,087	381	スクラップ、合金鉄・重油等値上り
(うち 支払手形)	42	5	37	期日一括支払ヘシフト
流動負債	5,336	5,212	124	短期借入金の減少(560百万円)
有利子負債	1,293	675	618	順調に約定返済中
純資産合計	8,886	9,497	611	
負債純資産計	16,236	16,638	402	
流動比率	125.8%	140.7%	14.9%	
自己資本比率(%)	54.7%	57.0%	2.3%	純利益計上により着実にアップ
DEレシオ(倍)	0.14倍	0.07倍	0.07倍	実質無借金に近い状態となる

スクラップ市況



関東H2炉前価格推移



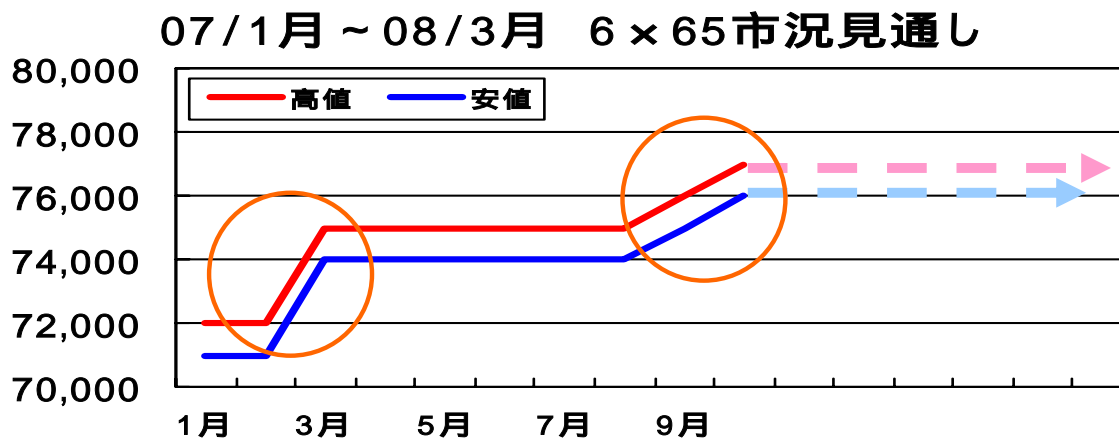
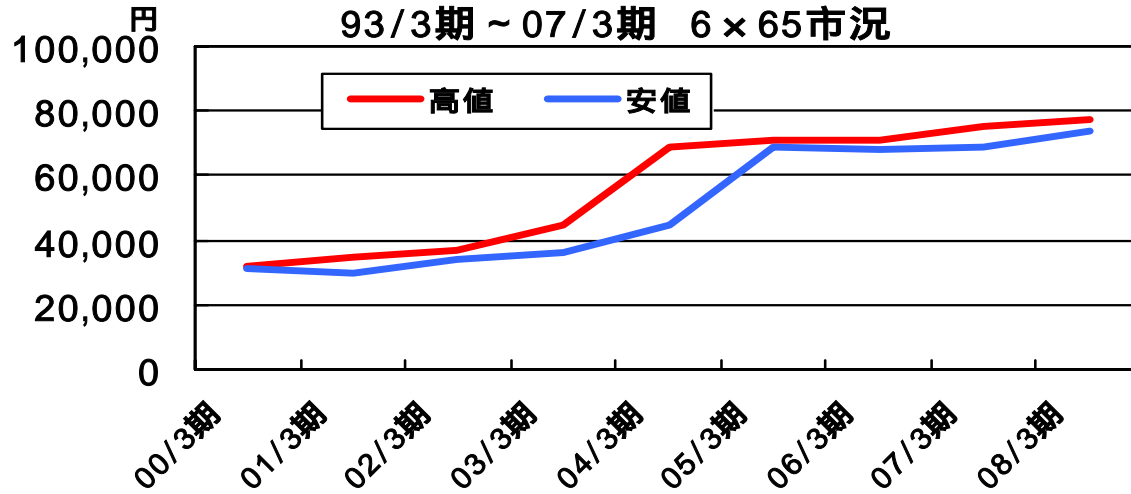
07.1月～08.3月 関東H2炉前価格推移及び予想



出所:社)日本鉄源協会

- 世界の粗鋼生産は増加(特に中国)しているが、増加率は縮小。
- 建築基準法改正による影響から一時的に需要が落ち、スクラップ市況は調整局面だが、大幅な下落にはならないと思われる。
- 財務省「通関統計」では、日本からの2007年輸出は前年比減少。

山形鋼市況



- 鋼材需要は、造船向けは旺盛だが、建築・土木は減少。
- 原材料高騰分を価格転嫁するために、3月に3千円、9月に5千円の値上を実施。
- 山形鋼市況(市中相場)は国内外とも横ばいで推移すると予想。

出所:鉄鋼新聞

08/3期 通期業績見通し



単位:百万円

	07 / 3	08 / 3			前期比 増減	7/27 通期予想	通期予想 修正額
	通期・実績	上期・実績	下期・予想	通期・予想			
売上高	15,961	8,880	9,820	18,700	2,739	18,240	460
営業利益	3,066	1,169	731	1,900	1,166	1,800	100
経常利益	3,082	1,169	731	1,900	1,182	1,800	100
当期純利益	1,744	699	361	1,060	684	1,010	50
配当金(円)	10	5	5	10	±0	10	±0

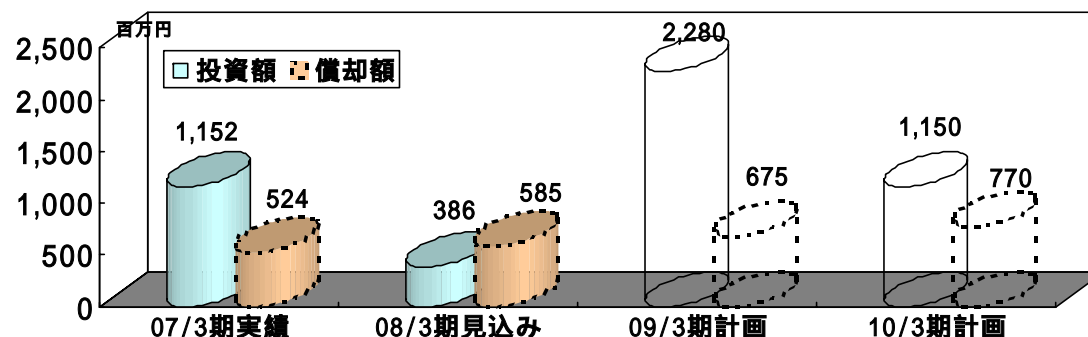
営業利益 減益要因(前期対比)

- 販売単価上昇 2,302百万円
- スクラップ等原材料価格の上昇 3,224 "
- 燃料等の上昇によるコストアップ 213 "
- その他 31 "

今後の設備投資計画(ロール除く)




- 基本方針**
- ・競争力の維持・向上を常に目指す
 - ・点検・管理強化をして、最適な投資タイミングを模索する
 - ・環境に配慮した投資を意識する



大型投資明細

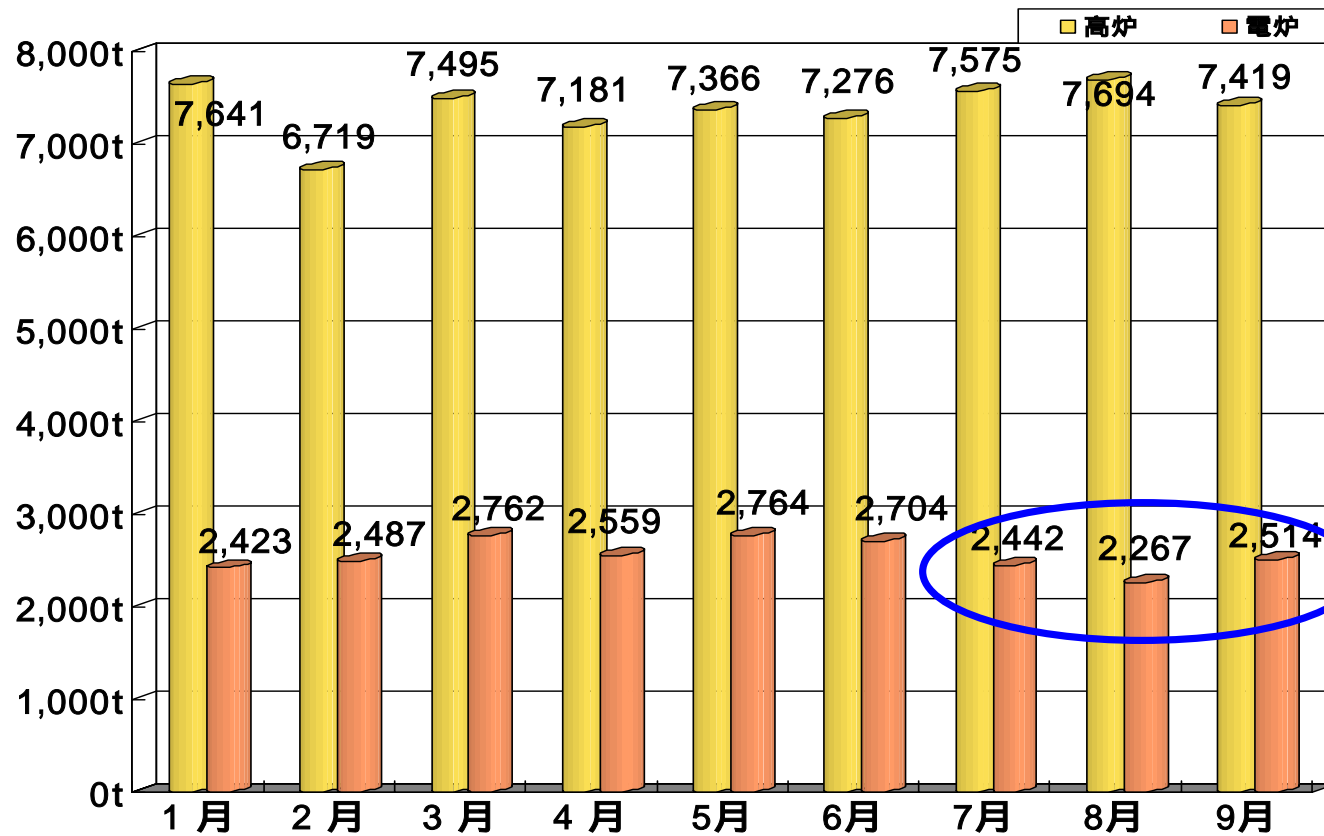
・ 09/3期	トランス及びフリッカー抑制装置(更新)	17.1億円	
	集塵装置(環境)	2.5億円	その他 3.2億円
・ 10/3期	加熱炉ガス化(改善)	5.5億円	圧延設備 4.0億円
	その他	2.0億円	

その他 付属資料

-  国内の粗鋼生産推移
-  鉄鋼業界中の当社の位置
-  製造工程図



国内の粗鋼生産推移(2007年)



出所: 経済産業省

鉄鋼業界内の当社の位置



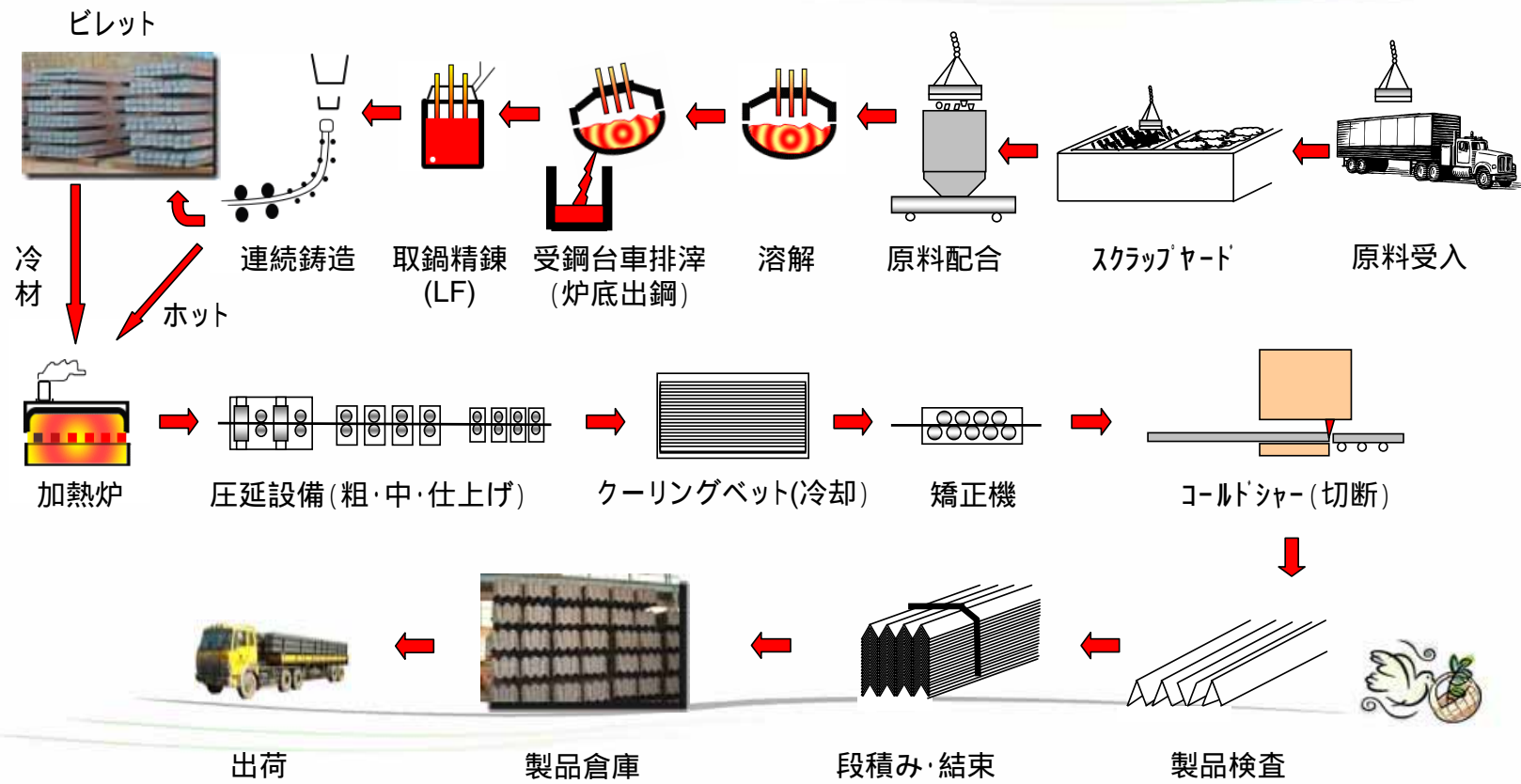
売上規模は小さいが利益率は常に上位

		売上高		経常利益		ROS		
		全体順位	電炉順位	全体順位	電炉順位	利益率	全体順位	電炉順位
東 京 鋼 鐵	04 / 3 中間	62位	14位	33位	9位	8.3%	8位	3位
	04 / 3 通期	66位	15位	34位	11位	9.4%	4位	★ 1位
	05 / 3 中間	57位	14位	29位	10位	22.8%	3位	3位
	05 / 3 通期	65位	15位	37位	14位	20.9%	6位	5位
	06 / 3 中間	61位	15位	38位	15位	20.1%	7位	6位
	06 / 3 通期	65位	16位	39位	15位	21.3%	6位	5位
	07 / 3 中間	65位	18位	38位	14位	20.9%	6位	4位
	07 / 3 通期	67位	16位	42位	14位	19.4%	5位	2位

04 / 3 中間(単独) : 65社 04 / 3 通期(単独) : 72社 05 / 3 中間(単独) : 65社 05 / 3 通期(単独) : 71社
 06 / 3 中間(連結) : 69社 06 / 3 通期(連結) : 69社 07 / 3 中間(連結) : 72社 07 / 3 通期(連結) : 72社

出所: 鉄鋼新聞

製造工程図



資料取扱上の注意



本資料に掲載しております計画数値や見通しは、現時点で入手可能な情報に基づいて当社独自に予測したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。

従いまして、実際の業績はこれと異なる可能性があり、見通しの達成を保証するものではありません。